

長野県に新たに加わる植物 IV

横 内 斎

I. Yokouchi: Some new plants to Nagano Prefecture IV

カマナシニワトコ *Sambucus sieboldiana* Bl. form. *kamanashiensis* YOKOUCHI

諏訪郡富士見町富士見。50年8月。母品にくらべると小枝が密に指す。小葉やや小形でやや細長い。光沢あり、果実は小形で鮮紅色。思うにフォッサ・マグナ地域の釜無谷の石灰岩地帯という特殊な地帯に生じ変化したものであろう。横内 斎 採集
マルバアカネ *Rubia akane* NAKAI form. *rotundifolia* YOKOUCHI 50年5月。

諏訪郡富士見町落合。母品にくらべると葉が丸い。母品は長径(葉身) 1.4に対し横巾1の割合であるが、本品はその割合は1.2に対し1である。葉先も母品よりも更に鈍円である。静岡地方では本品と母品との割合は半々ぐらいという(杉本氏来信)。横内 斎 採集
ムラサキオギ *Miscanthus sachariflorus* BENTH. form. *purpuratus* YOKOUCHI

51年9月28日。東筑摩郡四賀村会田小字知見寺。オギの紫花品。ススキより大形であり、穂も大きいからなかなか見栄えがする。三ヶ所程あり。後同村錦部刈谷原にも見出す。横内 斎 採集
シダレヒノキ *Chamaecyparis obtusa* SIEB. et Zucc. var. *penduliformis* UYEKI

51年4月17日。諏訪郡富士見町落合。三光寺境内。大木六本あり。横内 斎
キクガラクサ *Ellisiophyllum pinnatum* MAKINO var. *reptans* YAMAZAKI

51年6月15日。

木曽郡檜川村奈良井。横内 斎 採集 分布 武蔵 東京 尾張 三河茶臼山 山城 紀伊 播磨 備前 備後 讃岐 阿波 伊予 肥前 そのうち三河茶臼山

は下伊那郡根羽村の境で産地は三河側。伊那谷と木曾谷をへだて、更にその北の奈良井谷に属する隔離分布のいちじるしい例。

日本特産。母種は台湾、雲南省、フィリピン、ネパール、シッキムに産す。

バビリオ *Viola papilionacea* PURSH

松本市県旧信大文学部 51年6月27日 横内 斎 横内文人採集。帰化、北アメリカ原産。他に松本市各地にある。

シロバナゼニアオイ *Malva sylvestris* L. var. *mauritanica* (L.) BOLLS cv. *albiflora* 51年6月12日。松本市高宮。野化。欧州原産。

ミサワアザミ *Cirsium* × *misawaense* NAKAI

51年9月15日。諏訪郡富士見町富士見。横内 斎、飯沼冬彦、横内文人採集 タイアザミとフジアザミの雑種。産地 相模丹沢山畑野 古瀬義氏、遠江天竜川流域鳥居喜一氏。上伊那郡長谷村小瀬戸柄山祐希氏。日本で四番目、県内で二番目の記録。

ユキムラザサ *Sasa iwakiensis* KOIDZUMI

51年8月。諏訪郡富士見町落合。横内 斎 採集。クモイワトラノオ *Asplenium* × *akaishiense* K. OTSUKA

クモノスダとイワトラノオの雑種。大塚孝一氏採集 上伊那郡長谷村小瀬戸映。51年8月1日(大塚孝一氏来信)

種々お教えをいただいた杉本順一氏(静岡)、室井紳氏(神戸)、浜栄助氏(茅野市)、大塚孝一氏(金沢)に厚く御礼申し上げます。

(注) 新植物はまだ正式に発表されていない(T.S.)

木曽郡南木曽町柿其^{かきぞれ}で発見した長野県新産植物2種

橋渡勝也・高橋秀男

K. Hashido & H. Takahashi: Two new additions to the flora of Nagano Prefecture

1. サクライソウ

Protolirion sakuraii (Makino) Dandy

筆者の一人橋渡が、1976年10月20日に木曽郡南木曽町柿其(標高690m)で採集した。サクライソウは、

明るい山林内に生ずる腐生植物で、高さ10—20cm、全体は黄白色を呈し、7—8月に淡黄色の花径4mm余りの小花を総状につける多年草である。

既に報告されている産地は、基山地である岐阜県可